



家光公生誕四百年記念  
400th ANNIVERSARY OF THE ICEDA'S BIRTH

# 武鑑展

埼玉の大名達

寺田 勝廣

2004.08.10 ~ 08.15



ごあいさつ

社団法人小江戸川越観光協会会長

川越市長 舟橋 功 一

歴史と文化の香るまち川越は、江戸文化の影響を受け「小江戸」と呼ばれ、古いものと新しいものが調和した多彩な表情を見せるまちです。また年間約400万人の観光客が訪れる観光都市としても知られているまちです。

本年は、徳川三代将軍家光が誕生して400年目に当たります。鷹狩でたびたび川越を訪れた家光公ですが、市内には天海が住職を務めていました古刹「喜多院」があり、ここに江戸城から移築された「家光誕生の間」、その乳母である「春日の局化粧の間」を有する客殿のほか境内の南側には仙波東照宮などがあり、川越は徳川家ゆかりの地でもあります。

こうしたことから、家光公生誕400年を記念する事業の一環として、市内古文書所蔵家のご協力により、「武鑑展」を開催することになりました。この「武鑑」とは、江戸時代を通じて発行されてきた徳川幕府全般の組織を記したもので、将軍、大名、旗本など役付きの石高、領地、主な家臣の名前、参勤交代の月日、国許までの里数などが書かれた貴重な資料です。

今回は、貞享元年(1684)から明治4年(1871)までの間発行された武鑑約450冊の中から150冊を展示することとなりました。

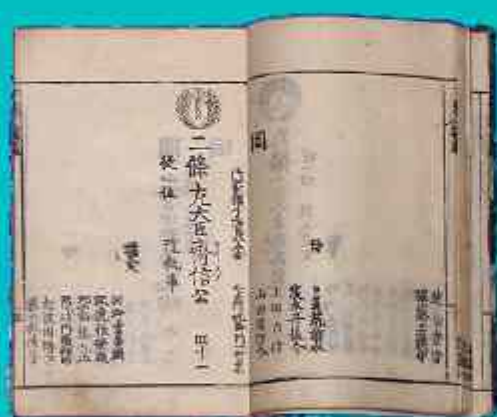
本展を通じて江戸文化、歴史に興味を呼び起こしていただく契機となれば幸いです。

ここに、貴重な資料の出展にあたりご協力をいただきました関係各位に対して心からお礼を申し上げます。





1-1



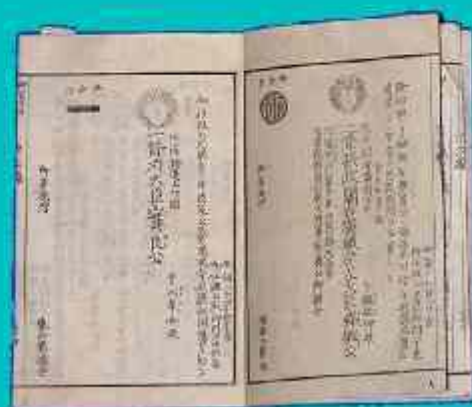
1-3



1-2



1-5



1-4



2-3



2-2



2-1



2-6



2-5

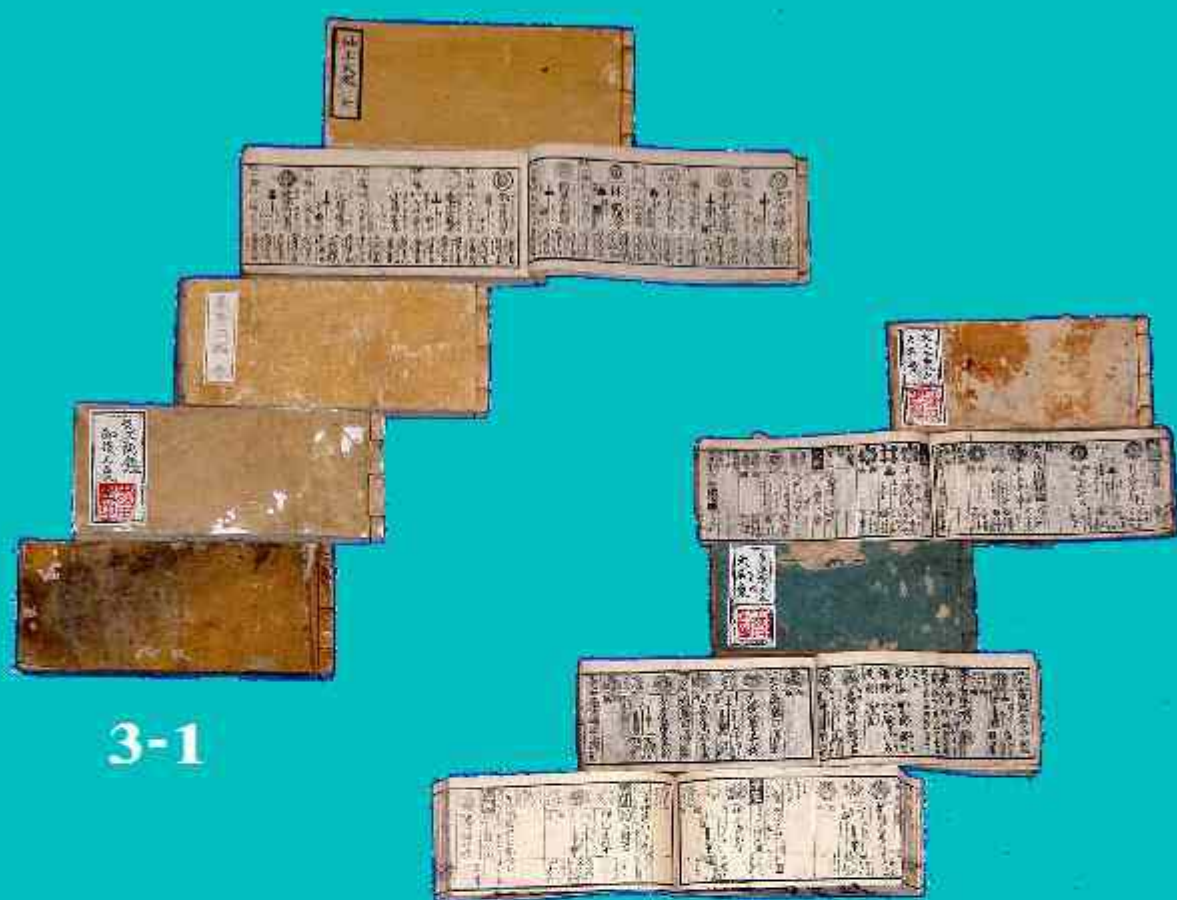


2-4



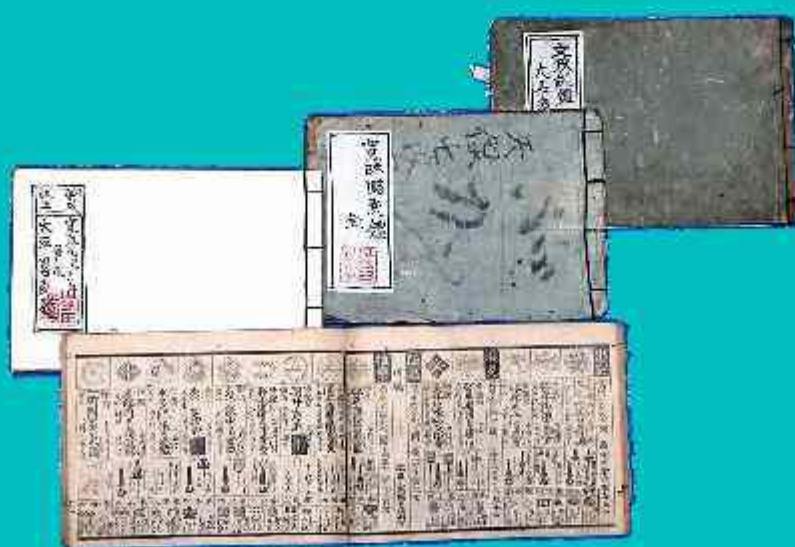
2-7





3-1

3-2



3-3





4-1



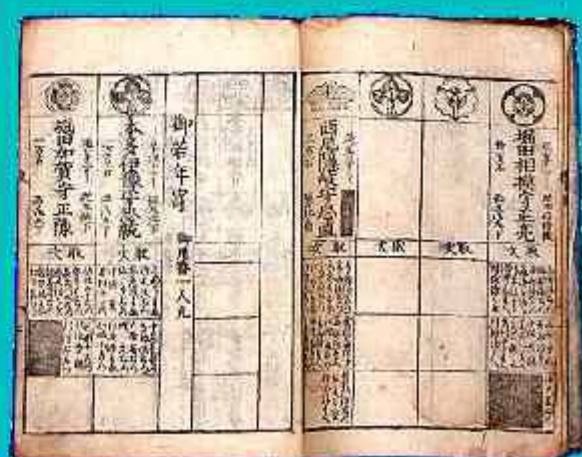
4-3



4-2



4-5



4-4





5-1



5-2



5-3



5-4



5-5



5-6





6-1



6-2



6-3





7-3



7-4



7-5



7-6



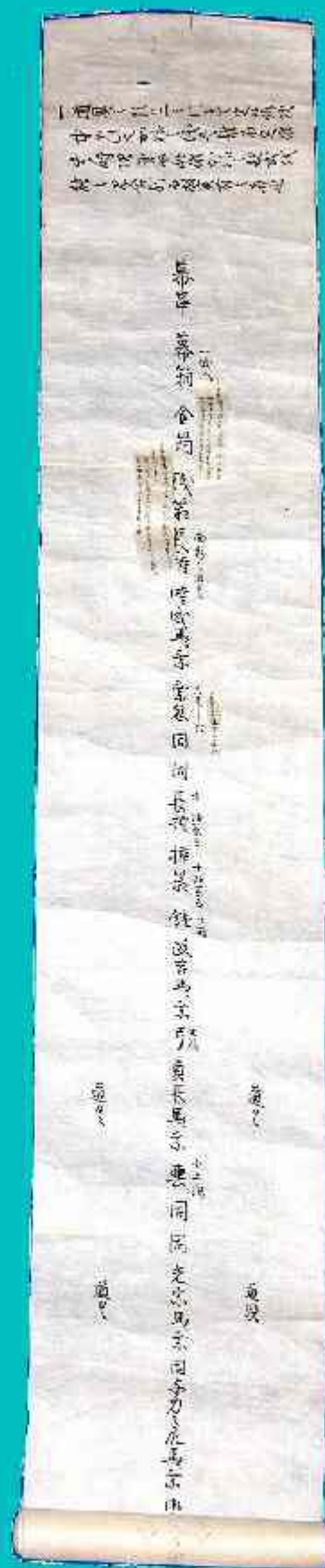
7-7



7-8



7-2



7-1





8-2



8-1



8-4



8-3



8-6



8-5



8-7



8-10



8-9



8-8





9-1



9-2



9-4



9-3



9-7



9-6



9-5



9-10



9-9

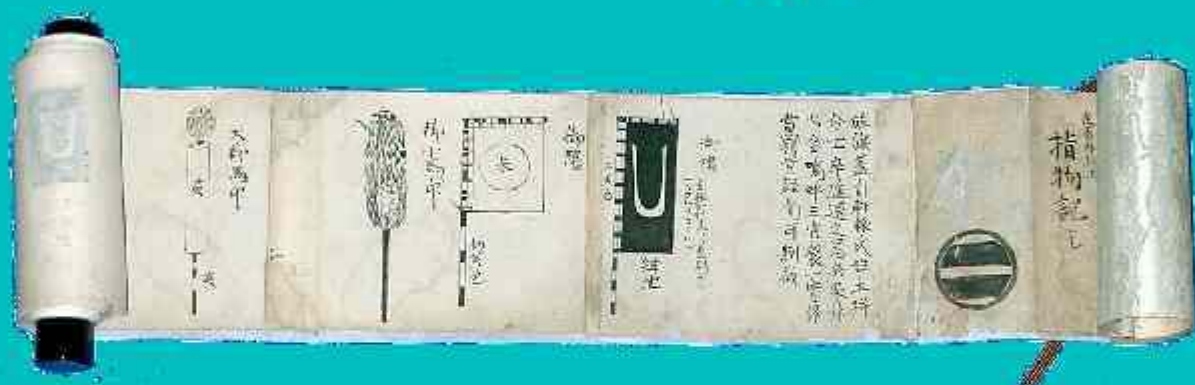


9-8





10-1



10-2



10-3



10-4



10-6



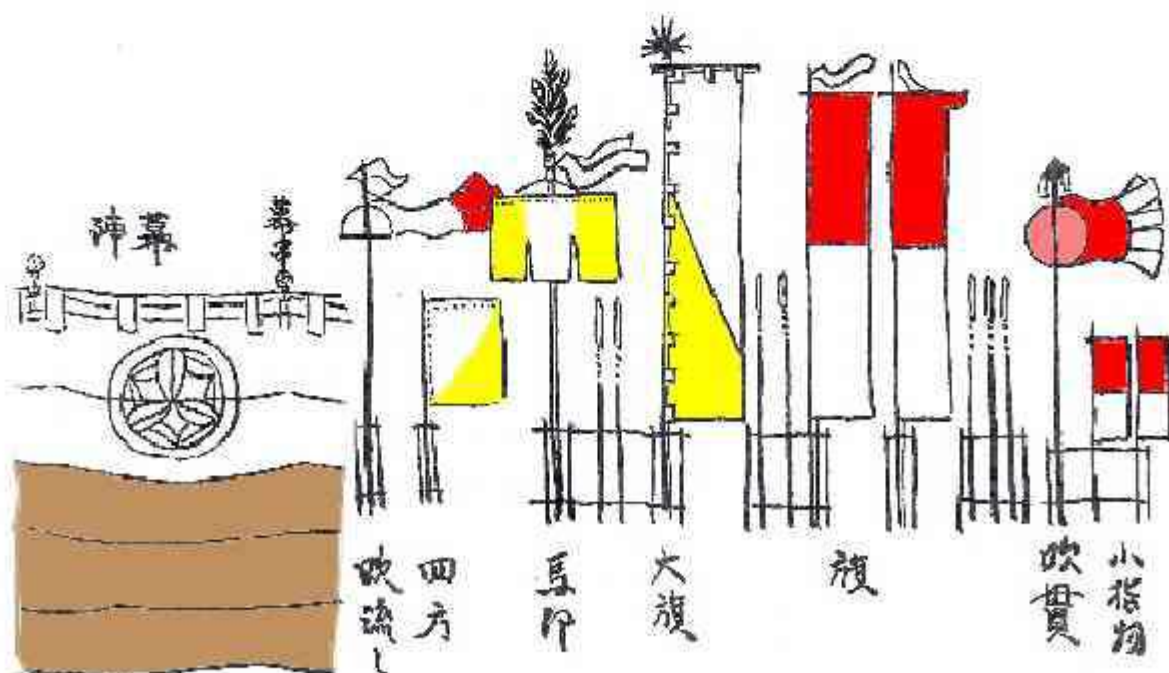
10-5





# 戦国の甲冑と陣屋

講師 甲冑武具研究家  
寺田勝廣氏





1-1	改正 増補	諸家知譜拙記		文政三年二月板		全5冊
1-2		新撰公家要覽亨		貞享三年板	(1686年)	
1-3		萬世雲上明鑑		天保十年板	(1839年)	
1-4		雲上示鑑 坤		明治元年	(1868年)	
1-5		職原抄 百官	上巻・下巻	萬治二年	(1859年)	

2-1		平家勇士鑑				
2-2		鎌倉御武鑑		東都永栄軒蔵板		
2-3	増補 再板	鎌倉武鑑	上・下			二編
		系図、畧傳、所領、分家	全			
2-4	新田 楠木	南朝勇士鑑	全			
2-5	雪山先生撰	織田名士鑑	全			
2-6		豊臣名士鑑	全			
2-7		京都將軍家譜	上・下	明暦四戌成歳 初春吉辰彫亥	(1658年)	

3-1		有司武鑑	全	安政四年	(1857年)	外4冊
3-2		略武鑑	全	弘化三年	(1864年)	外4冊
3-3		文化畧武鑑	全	文化十四年	(1814年)	外3冊

4-1	字實	宝暦十三年大名衆武鑑付		寶暦十三年	(1765年)	2冊
4-2		正徳武鑑	巻ノ一	正徳四年	(1714年)	
4-3		享保武鑑	巻ノ二	享保元年	(1721年)	
4-4		延享武鑑 役付衆	巻ノ三	延享三年	(1746年)	
4-5		寶暦武鑑	巻ノ一	宝暦十二年	(1762年)	

5-1		文化武鑑 御大名衆・御役人衆		文化十五年	(1818年)	
5-2		宝暦改正御武鑑		宝暦四年	(1754年)	
5-3		海陸改正御武鑑		明和元年	(1764年)	
5-4		文政武鑑 略 大名衆全役付		文政元年	(1823年)	
5-5		安政三年国分略武鑑 全		安政三年	(1856年)	
5-6		懷寶畧武鑑		明治二年	(1869年)	2冊

6-1		御公家鑑		宝暦四年	(1754年)	
-----	--	------	--	------	---------	--

6-3 公郷方、諸藩方并諸藩士方 **御加増部** 蝦夷地開発治国名、北海道十カ国ノ内御預リ諸藩方  
 謹慎御免家名相続、御召被出諸藩方并御加増附 1枚



7-1	行列図		
7-2	太閤秀吉公 御葬式御行列記		
7-3	日光御神忌御役人附	文化十一年	(1814年)
7-4	日光山御参詣御供奉	天保十四年	(1843年)
7-5	御大禮御用掛御役人附	天保八年	(1837年)
7-6	日光山御参詣御供奉	天保十四年	(1843年)
7-7	日光御社参御用掛り	安永五年	(1776年)
7-8	日光山御宮供奉役人衆	文政元年	(1823年)

8-1	西御丸、御造営 御用掛	天保九年	(1838年)
8-2	御上洛、御用掛、御供奉御役人附	文久二年	(1862年)
8-3	日光山御参詣御宮 御供奉	天保十四年	(1843年)
8-4	文安年代記	慶應二年	(1866年)
8-5	嘉永武鑑 御寄合衆	嘉永元年	(1848年)
8-6	御引移御用掛御役人附 全	天保八年	(1836年)
8-7	御郡代、御代官衆		
8-8	字林節用 不求人大成	正徳二年	(1712年)
8-9	日光山二百回御神忌 御用掛	文化十二年	(1814年)
8-10	華族類別名鑑 全	明治十五年	(1883年)

9-1	江戸町燭安内	安政七年	
9-2	御役人附早見	元治二年	(1865年)
9-3	御役人附早見	慶應二年	(1866年)
9-4	御役人附早見	文久四年	(1864年)
9-5	略武鑑	天保七年	
9-6	京都順覧記		
9-7			
9-8	藩翰譜惣目		
9-9	津輕御系譜畧		
9-10	年玉両面道中記		

10-1	天保武鑑 松平越前守慶永	天保十五年	(1844年)
10-2	越前松平家指物記完 一卷		
10-3	東京番組 中年寄、添年寄	明治六年	
10-4 (写真上)	教兵紀業附録 全		
10-4 (写真下)	兵法至極虎巻	文政四年二月 (1821年)	
10-5	東都浦城 打込席順帳	明治元年 冬 十二月写晋	
10-6	村名日記	天保二年 正月吉日	小三印



## お礼

私しが、小学校の頃より収集いたしました本「武鑑」が今年で50年目になり、数も450冊を超えました。今年ば川越市で家光公生誕400年に当たり、記念事業の一つとして武鑑展を開催することになりました。おもちゃ箱をいっくり返した様な展示になるかと思いますが、武鑑展が何かの参考になれば幸いで御座います。「武鑑展」開催にあたり、各方面機関に色々アドバイスを頂き、又ご協力を頂いた方々に対し、心より感謝申し上げます。

平成十六年八月十日 寺田図書助勝廣

展示会の実行および図録の作成について  
次の機関 個人の方々からご協力を賜りました。此処に厚く御礼申し上げます。

### 参考文献

#### 著書

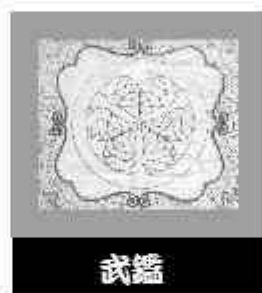
藩史総覧 新人物往來社 昭和52年

### 機関

川越市教育委員会  
川越市観光課  
川越市立博物館  
川越市中央図書館  
埼玉県立博物館  
埼玉県立文書館  
埼玉県立郷土博物館  
行田市見難波田城跡資料館  
富山町町史編纂室  
富山町町史社会教育課  
富山町立郷土資料館  
富山町立郷土資料館

### 個人 (敬称略)

齊藤林子中野津田木上本實藤岡々海  
兼田大大塚植村山橋藤齊戸森佐若  
平一郎巳道 二実司美 一二功司  
修宏順哲政健良弘伸政康久忠周建 正  
子



武鑑